



皆さんは、ラウンド中、ゴルフクラブを『14本』使いこなしていますか？



④

今回は4回目のゴルフマネジメントテーマとして、『クラブマネジメント』に関して、ご提言します。ゴルフの特徴の一つは、クラブを14本使用することが許可されていることです。勿論、一定の条件がありますが、ドライバーからパターまで、どのメーカーの何のクラブを、いつでもどこでも、自由に自分の判断で使用することが許可されています。

道具を使う球技で、14本もの多くのギア(クラブ)を自由に使用できるスポーツは他にありません。唯一、グリーン上だけは、原則パターでの使用に制限をされていますが、そればグリーンを痛める等、他のプレーヤーに迷惑が掛かるからです。

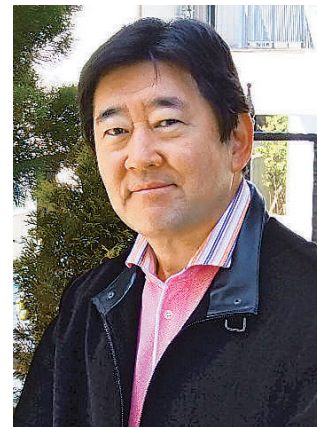
歴史的には、1859年まではクラブ制限がありませんでしたが、沢山のクラブを持たされて重労働を強いられたことに不満を持ったキャディーが、英国R&Aを訴え、1ダース+パターの13本に一度は決定されたものの、不吉な数字を嫌って、+1の14本以内に決定されたという経緯があります。そのことが、プレーヤーの悩みや不安を増幅する原因にもなっていることを考えられたことがありますか？ まずは、ショットの時に、どのクラブ選択がベストであるかを悩む為、ある程度の、クラブマネジメントが必要になってきます。皆さんは、5本競技や7本競技をご存知ですか？私は過去数回、5本や7本でラウンドした経験があります。その時に感じたのは、「クラブ選択の悩みが無くなった」ことです。一方

で、創意工夫やイマジネーションやコースマネジメントはより必要になりました。その経験で認識できたのは、コースの難易度や技術レベルにもよりますが、実は、5本でも7本でも14本でも、極端にスコアは変わらないということです。具体的には以下のようなイメージです。①初心者には、クラブ3本でのラウンドを勧めています。7番アイアンとウエッジとパターです。クラブ選択の悩みが全くありませんので、スイングに集中できるので、徐々にショットに慣れてきて、コースマネジメントも考えることが出来るようになります。②108打前後でラウンドする人には、クラブ7本でのラウンドを勧めています。ティーショットは、ドライバーとは限定せず、DR・FW・UTから選び、次のショットは、大方FW・UT・ミドルアイアンから選び、100ヤード以内からは、7番～ウエッジから選ぶようなクラブマネジメントを基本にしています。そうすると、せいぜいクラブ7本程度で十分なラウンドができます。ドライバーを使わないと将来ドライバーが打てなくなるとの指摘がありますが、自分の経験ではそのようなことはありません。寧ろ、ドライバーを使わないと最大の悩みが無くなるので、精神的にも楽になり、アプローチやパターの重要性を早い段階で理解することになり、楽しくスコアの向上が図れます③95打前後でラウンドできるような段階になりますと、さらにアプローチの精度をアップして、グリーンオン率やワンパット率

を向上させたくりますので、漸くドライバー使用を検討せざるを得ない段階になります。勿論、月例や競技では、6200ヤード以上の距離のあるコースでのラウンドが主になりますので、220ヤード以上のティーショットの距離を目指したくなります。その段階で、フィッティングをもらい、自分に合ったドライバーを探し求めるのが一番ベストなタイミングと思います。

そうなのです。14本のクラブが使えるというのは、悩みが14個あるということなので、ある程度のレベルに達しないと使いこなせないばかりか、ミスショットの原因である悩みや不安を増やすだけで、メリットは少なくデメリットが多いのです。人間が行う球技スポーツで、ゴルフのドライバーショットが一番遠い距離に球を運ぶことが出来るため、そこに魅力があるのも事実です。でもロングヒッターにとっての飛距離というゴルフの魅力は、スコアマネジメントが必要の無い世界でのテーマですので、このコラムでは、最優先で考慮することはできません。

結論：ゴルフクラブの使用本数は、その時の技術レベルや調子に応じて、選ぶべきで、ドライバーも14本の内の1本である以上、使用クラブ数を制御することで、スコアが向上する可能性が大いにあることを知っておくべきです。虚栄心やロマンは、時にマネジメントにはマイナスになります



村瀬雅宣

(むらせ・まさのぶ)

1977年一橋大学卒。同年4月東京海上火災保険入社。92年同新潟南支社長、2004年福岡久留米支社長、08年日鉄保険サービス出向。

現在は日鉄住金保険サービス 企業リスクコンサルティング部長

ゴルフキャリア(ハンディキャップ: JGA3.0)

一橋大学体育会ゴルフ部キャプテン。東京海上火災保険ゴルフ部キャプテン。全国社会人企業対抗戦代表選手(約10年間)。全三菱ゴルフクラブ常任理事。首都大学東京ゴルフマネジメント講座講師。ゴルフレッスンコミック(コーキューシュッセ)連載中。メンタルトレーナー。一橋大学体育会ゴルフ部コーチ